

永井了吉 （あきよし） 評論家。明治二十六年八月二十日葉縣生れ。昭和五十四年一月十七日歿（八三—九五）。大正九年東京帝國大學上學部卒。内務省勤務を経て、昭和五年日本大學教授。七年田尻隼人等と勤皇維新同盟を結成、總理となる。核心社同人。十年天津大東公司支店長。十四年滿洲土地開發理事。戰後建設省専門委員、二十五年首都道路開発議會事務理事等歴任。

著書『調和の哲學』（昭和二十九年一月十日經濟往来社）、『有と無の問』（昭和四十二年十一月二十五日經濟往来社）、『調和の理論と政策—混乱からの脱出—付、隨想』（増補再版、昭和四十七年九月十日永井了吉出版後援会）、『科學から宗教へ—生命哲學の目指すところ』（昭和五十二年二月十日學藝書林）等。

